

水産物の市況について(平成27年8月及び9月)

—東京都中央卸売市場における平成27年8月(平成27年7月21日～8月20日集計)の市況と、
平成27年9月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成27年8月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月並みとなり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べやや強含みに推移しました。

II 平成27年9月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。
(主漁場は道東及び北部太平洋海域)

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べ、新物のアキサケの搬入が増加することから全体としても増加すると見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

道東で漁が始まることから入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、初物需要があることから、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量はやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は、さんまやアキサケに押されやや弱含みに推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量はやや増加して推移すると見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

漁期に入ることから入荷量は前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格は弱含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	8月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
27年	37	1021	37	978	42	934
前年	39	989	44	919	45	890

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2: 入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	<u>東京都中央卸売市場卸売価格(概数)</u>			
	8月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	519	113	94	125
さけ・ます(平均)	839	100	95	124
(ぎんざけ塩蔵品)	825	100	88	117
(あきさけ塩蔵品)	664	100	95	109
(ときさけ塩蔵品)	1,308	111	160	163
(べにざけ塩蔵品)	1,194	100	113	128
(さけ類冷凍品)	788	100	93	126
さば(生鮮品)	467	112	110	122
するめいか(平均)	526	109	107	130
(生鮮品)	579	112	113	142
(冷凍品)	413	100	92	106
あじ(生鮮品)	619	89	94	103
まぐろ(冷凍品)	1,239	92	86	89
(めばち冷凍品)	954	99	94	97
(きはだ冷凍品)	903	100	92	94
(くろまぐろ冷凍品)	3,405	98	85	92
(みなみまぐろ冷凍品)	1,967	88	88	85
かつお(生鮮品)	490	130	78	77
さんま(生鮮品)	600	170	61	87

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2: 8月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成22年～26年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 大橋、原、安井

直通 03-3591-5612